

2012～2016年度県の基本方針となる「埼玉県5か年計画」は、3月13日、計32項目の追加修正が行われ賛成多数で可決され、26日には本会議で採決されました。

今回の修正案は、議会側の5か年計画として策定した内容を踏まえ、議会側の計画案中の重要な部分について執行部側の5か年計画に加筆修正を加えたものです。議会として独自案を提言して、執行部側が提案した5か年計画と競い合う形で5か年計画を策定する方法は、国内の自治体でも例を見ない試みでした。

追加・修正された項目は、主な取り組みが24項目、

施設指標が6項目、施策内容が2項目、「県立大学の医学部設置に向けた検討」や「小・中学校各学年の全県一斉学力テストの実施」などが新たに追加され、子育て支援充実のための指標として、保育所待機児童数の半減や、医師数の全国最下位からの脱出などの数値目標も定めました。中小企業の支援では主な取り組みとして、商工団体の事業に対する支援の拡充と専門家派遣事業の充実強化を盛り込んでいます。

## 会派視察調査レポート

4月10日から12日にかけて、民主党・無所属の会の県外視察調査が行われました。

10日は、高知県室戸市でジオパークについて、高知県馬路村で村おこしについて視察。11日と12日には香川県高松市を訪問し、中心市街地活性化（高松市丸亀町）について、また瀬戸内国際芸術祭を中心としたアートによるまちづくりについて視察調査しました。



▲岡・菅・山本（写真右から）の各議員が質疑を行いました。



▲室戸ジオパークは秋父ジオパークの世界認定の参考に



▲高松丸亀町商店街にて

|   |   |  |   |
|---|---|--|---|
| <b>菅克己</b><br>すがかつみ<br>南2区(川口市)<br>引かない、曲げない、あきらめない | <b>木村勇夫</b><br>きむらいさお<br>南10区(さいたま市南区)<br>まっすぐ、まじめ。 | <b>岡重夫</b><br>おかしげお<br>東7区(白岡町・宮代町・菖蒲町(久喜市))<br>ほっとけない!        | <b>浅野目義英</b><br>あさのめよしひで<br>南9区(さいたま市浦和区)<br>感動県政!感動浦和! |
| <b>高木まり</b><br>たかぎ<br>南4区(さいたま市北区)<br>動けば変わる        | <b>醍醐清</b><br>だいご<br>南22区(朝霞市)<br>信頼と連携でつくる埼玉・朝霞    | <b>田並尚明</b><br>たなみひさあき<br>北6区(熊谷市)<br>若さと行動力<br>いつでもどこでもかけつけます | <b>水村篤弘</b><br>みずむらあつひろ<br>西1区(所沢市)<br>所沢から埼玉県政に新しい風    |
| <b>吉田芳朝</b><br>よしだよしのり<br>南18区(新座市)<br>全力投球         | <b>山本正乃</b><br>やまもとまさの<br>東9区(越谷市)<br>県政をもっと身近に!    | <b>井上将勝</b><br>いのうえまさかつ<br>南6区(さいたま市見沼区)<br>笑顔があふれる埼玉づくり       | <b>中川浩</b><br>なかがわひろし<br>西4区(狭山市)<br>狹山の為に県政改革!         |

埼玉県議会 民主党・無所属の会 公式サイト  
[www.minsyu.info](http://www.minsyu.info)

編集・発行:  
埼玉県議会民主党・無所属の会  
〒330-9301  
埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1  
[TEL]048-833-1710  
[FAX]048-833-1722

# 埼玉県議会 民主党・無所属の会 議会レポート

—2012年春版—



【いざといふときの拠点となる  
「埼玉県危機管理防災センター」】



## 防災強化PTの主な活動

- 陸前高田市視察
- 石巻市震災ボランティア、多賀城市視察(共催)
- 静岡県庁視察(東海大地震を想定した対策について)
- 県危機管理防災部との情報交換
- 実践想定型図上訓練DIG (Disaster Imagination Game)の勉強会
- 埼玉大学地図科学研究センター 川上英二教授(都市地震工学)との意見交換
- 東京経済大学・吉井博明教授(災害情報論)との意見交換
- 各種防災シンポジウムからの情報収集

東日本大震災発生から1年が経過しました。改めてお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、未だ避難生活を強いられている皆様、復旧復興が実現していない地域の皆様に対しても心からのお見舞いを申し上げます。

今後発生の可能性が高いとされる首都圏直下の大震災で尊い命を無駄にしないために、過去の災害によつて得られた教訓をいかしていかなければなりません。

私たち埼玉県議会民主党・無所属の会では、昨年の統一地方選挙直後から防災強化プロジェクトチーム(以下PT)を設置し、研究を重ねた成果を積極的に提言しています。

本PTでは、人命を守ることを第一優先に取り組んでいます。政治は、国民の生命と財産を守ることが重要なテーマです。火災を防ぐ、食料備蓄、避難支援物資、復興、どれも大切な課題だと思いますが、最も重要なのはどのように地震から命を守るかであります。

日本は、頻繁に大地震が発生し甚大な数の犠牲者がいる。近に迫っていることを念頭に、県民と行政のそれぞれが減災や災害対応能力を上げるために具体的な取組みについて優先順位を明確にさせながら提言していく必要があります。

今後とも本PTでは、首都直下型大震災の発生が存在する国でありながら、地震で命を守るために、県民と行政のそれぞれが減災や災害対応能力を上げるために具体的な取組みについて優先順位を明確にさせながら提言していく所存です。

## 大災害に備えて動く 防災強化プロジェクトチームで研究・提言

東日本大震災発生から1年が経過しました。改めてお亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、未だ避難生活を強いている皆様、復旧復興が実現していない地域の皆様に対しても心からのお見舞いを申し上げます。

今後発生の可能性が高いとされる首都圏直下の大震災で尊い命を無駄にしないために、過去の災害によつて得られた教訓をいかしていかなければなりません。

私たち埼玉県議会民主党・無所属の会では、昨年の統一地方選挙直後から防災強化プロジェクトチーム(以下PT)を設置し、研究を重ねた成果を積極的に提言しています。

本PTでは、人命を守ることを第一優先に取り組んでいます。政治は、国民の生命と財産を守ることが重要なテーマです。火災を防ぐ、食料備蓄、避難支援物資、復興、どれも大切な課題だと思いますが、最も重要なのはどのように地震から命を守るかであります。

日本は、頻繁に大地震が発生し甚大な数の犠牲者がいる。近に迫っていることを念頭に、県民と行政のそれぞれが減災や災害対応能力を上げるために具体的な取組みについて優先順位を明確にさせながら提言していく所存です。

日本は、頻繁に大地震が発生し甚大な数の犠牲者がいる。近に迫っていることを念頭に、県民と行政のそれぞれが減災や災害対応能力を上げるために具体的な取組みについて優先順位を明確にさせながら提言していく所存です。

## トピックス

### 代表質問

### 平成24年度2月定例会代表質問 民主党・無所属の会 代表 畠山 稔

東日本大震災から1年近くが経ちました。私は陸前高田市の出身であり、震災直後から何度も被災地へボランティアに訪れ、現場から被災地をみてまいりました。この経験を生かし、今後高い確率で予想される首都圏直下型・東海・東南海・南海地震に、県民の安心・安全の為、万全の体制を築かなければなりません。また、埼玉県が抱えるさまざまな課題を解決し、現在、そして子供達の未来の為にも住みよい埼玉県を創りたい、そんな気持ちで、今回代表質問をいたしました。以下その一部をご紹介いたします。



#### 1. 平成24年度予算について

- Q. 知事は、埼玉から日本を再生するという決意のもと平成24年度予算を提案された。厳しい財政状況の中でどのようなメリハリをつけた予算案なのか。
- A. 埼玉から思い切った政策を提案し日本をリードしていく決意のもと、特に、エコタウン・ウーマノミクス・健康長寿の3大プロジェクトをはじめとした、安心・成長・自立自尊の埼玉の実現に向けた事業に重点的に予算を配分した。

#### 2. 福祉避難所未設置自治体に対する働きかけについて

- Q. 県内市町村では、災害時要援護者避難支援個別計画が策定中だが、半数の市町村で福祉避

難所が未設置との報道があったがどのように改善していくのか。

- A. 未設置の33市町村に職員が個別に訪問し、直接設置を働きかけている。今後、福祉施設の関係団体に対しても県から直接働きかけるなどして、未設置の市町村に対し24年度中に設置時期の目途をつけてもらうようにする。

#### 3. 健康長寿埼玉プロジェクトについて

- Q. 健康長寿社会を構築するための「埼玉モデル」とはどのようなものか。
- A. 高齢化率が高い割に一人当たりの医療費が最も低い小鹿野町の事例に着目した。徹底した保健指導や、高齢者の社会参加による生きがいづくり、などの取り組み成果を、全市町村に普及させたい。

### 予算特別委員会報告 新年度予算は3分野に重点配分

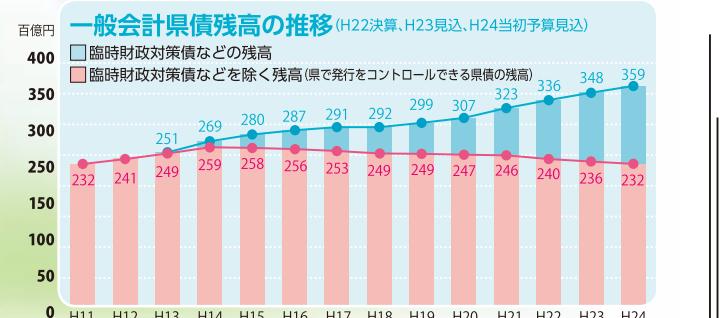
#### ～エコタウン・ウーマノミクス・健康長寿～

##### 平成24年度予算の規模

|      | H24年度予算額      | 前年度比   |
|------|---------------|--------|
| 一般会計 | 1兆6777億2200万円 | ▲0.7%  |
| 特別会計 | 5171億4835万8千円 | +16.3% |
| 企業会計 | 2026億1666万2千円 | ▲0.3%  |
| 合計   | 2兆3974億8702万円 | +2.6%  |

予算特別委員会においては、3月6・7日に総括質疑、16日に締め括り総括質疑が行われ、平成24年度予算案につき活発・慎重な審議が行われました。我が会派からも高木、井上、浅野目、岡、吉田議員の順に質疑に立ちました。

財政状況厳しい中で、県の3大プロジェクトである「エコタウン・ウーマノミクス・健康長寿」という分野にしっかりと重



## 12月定例議会



### 一般質問

#### 田並ひさあき県議 (北6区 熊谷市)

##### 1. 埼玉県の産業振興策としての新潟港の利用促進について

- Q. 新潟港が日本海対岸諸国との貿易窓口になれば、埼玉県は日本の物流基地としての発展が望める、いろいろな場で議論を深め、政策を取りまとめることはできないか。

- A. 企業からの意見もよく聞きながら、今後、3県知事会議を活用して政策を取りまとめていきたいと考えている。

H24年4月16日 地元トラック協会と国土交通省との勉強会に出席しました。

##### 2. 軽度・中等度難聴児への補聴器補助について

- Q. 軽度・中等度難聴児の生徒も他の生徒たちと同じように安心で楽しく学べるよう補聴器の補助に取り組んでいただきたい。

- A. 難聴児の健全な発育に対し、国への要望だけではなく、先進的な取組を行っている他県の調査を行い、県として何かできることはないか研究をしてまいりたい。

実現しました。H24年度4月より補助開始

##### 3. 災害における木造仮設住宅の供給推進について

- Q. 被災した場合、被災者の皆様の快適な住環境確保のため、被害時の一日も早い県内経済復興のため、木造仮設住宅の協定締結に向け協議をしていただきたい。

- A. 東北三県では、プレハブ建築協会のみでは応急仮設住宅の供給が追いつかず、木造の応急仮設住宅も含めて必要戸数を確保した。県民の安心・安全を高めるため一般社団法人全国木造建設事業協会との協定締結に向けた協議を進めます。

実現しました。H24年3月29日に協定締結



### 一般質問

#### 高木まり県議 (南4区 さいたま市北区)

##### 1. 分権時代の埼玉県のあるべき姿について

- Q. これからの分権の時代、まず市町村ができることは市町村がやるべきである。県は補助金を使って市町村に与することをやめ、国で始まつたように、補助金を一括交付金化して市町村に渡してはと考えるが、どうか。

- A. 一括交付金化は県と市町村の関係の中で制度的にありえないと思うが、県の補助金の一部に、市町村が自らの役割として行うような事業が混在している部分については今後も改革していく。

##### 2. がん対策について

###### <在宅医療の充実の必要性>

- Q. 本県では20年後に75歳以上の人口が68万人増加し、単身世帯も増える。増加するがん患者が適切な医療にかかる体制をつくるには、在宅医療の充実は欠かせない。知事は20年後の患者数をどう予測し、治療体制をどうすべきと考えているのか。また在宅医療を支える資源をどう確保していくと考えているのか。

- A. がん患者は20年後に年間約5万人と推計される。在宅診療については、県立がんセンターが作成した「医療連携手帳」でネットワークを作っていく。また、5年ごとのがん対策推進計画などで適切に対応する。

###### <がんの不安を支える>

- Q. がん対策では、患者さんの不安を受け止めることも重要になってくる。相談体制は大丈夫か。各病院の治療実績を公表すべきではないか。

- A. 県内11ヶ所の「がん診療連携地域拠点病院」に「相談支援センター」を配置するなどしているが、今後も相談体制の一層の充実に努める。各病院の治療実績は把握していない。

##### 3. 長期的視点に立った県有施設の管理・運営について

- Q. これから耐用年数が経過する県有施設が増え、維持管理・更新にかかるコストが上昇する。これら膨大な県有施設は、一括して戦略的に管理・運営する必要があると思うがどうか。

- A. 提言の内容を踏まえ、しっかりと対応していく。



### 一般質問

#### 木村勇夫県議 (南10区 さいたま市南区)

##### 危機に備えた今後の首都機能と埼玉県への影響について

- Q. 今後は危機対策として、一極集中から国家の機能を分散させることが必要だと考える。首都機能分散論や移転論、また

- A. パックアップ論などの中で、知事のご見解はいかがか、伺う。

- A. (上田知事) 本県は首都機能のパックアップ体制を担う役割が本来与えられているというふうに思っている。さいたま新都心の基盤を生かして、仮に首都東京の機能が失われた場合には埼玉県がパックアップの機能を果たせるような役割を埼玉県が担うことになる。

##### 部活動の推進について

###### (1) 運動部活動を支える人材について

- Q. 今後指導者不足を解消して部活動を推進するためには、外部指導員を積極的に採用するとともに、顧問教師の待遇をさらに改善すべきと考えるが、教育長の見解を伺う。

- A. (前島教育長) 部活動手当については、平成20年10月から額を倍増する改善を実施した。今後も、顧問教師の待遇改善に努めていく。

###### (2) 普通の子どもが運動部に入る環境づくりについて

- Q. 運動経験のない子どもが運動部にスムーズに入れる環境づくりが必要と考えるが、見解と取り組みについて伺う。

- A. (前島教育長) 生徒が、楽しさを味わい、無理なく活動することができるよう指導し、今後とも、運動経験のない生徒がスムーズに運動部に入れる環境づくりに努める。

###### (3) 部活動と勉強の両立について

- Q. 部活動と勉強の両立について、教育長の見解と今後の取り組みについて伺う。

- A. (前島教育長) 部活動は生徒自身の大きな力になる。部活動と学習の両立を図り、充実した学校生活を送ることができるよう指導していく。



### 一般質問

#### 水村篤弘県議 (西1区 所沢市)

##### ●狭山茶のブランドイメージ回復について

- Q. 昨年放射性物質により影響を受けた狭山茶について、ブランドイメージ回復に向けて、売上回復、販売促進、検査体制などどのように取り組んでいくのか?

- A. (上田知事) 茎葉の調査、若芽・早摘みのものを含めて検査を徹底していく。その上で、おいしい狭山茶をアピールしていく。新茶の時期には、CMを作成し、テレビなどでPRする。また西武ドームで埼玉西武ライオンズの狭山茶応援マッチを開催する等、茶業者の皆様と力を合わせ取り組んでいく。

##### ●自殺予防対策について

- Q. 自殺の動機として一番大きな割合の「健康問題」であれば各医療機関、2番目に大きな割合の「経済・生活問題」であれば多重債務相談窓口や各職場など、それぞれ関連した現場との連携が、自殺予防には重要であるが、相談体制をどのように構築していくのか?また自殺予防に早期の対応を図るために、身近に接する事ができる「ゲートキーパー」の養成に、どのように取り組んでいくのか?

- A. (保健医療部長) 県では、生活相談と心の相談を同時に実施している。今後も民間団体や市町村と連携しながら、相談体制の充実を図っていく。また、積極的な情報発信や市町村などに対する支援を行う事により、ゲートキーパーの養成に取り組み自殺の予防に努めていく。

##### ●成年後見制度の充実について

- Q. 成年後見制度の周知をどのように図っていくのか?またどのように信頼できる市民後見人を養成していくのか?そして高齢者の皆さまが、安心して制度を利用できるような相談窓口を設置できないか?

- A. (福祉部長) 制度の周知については、市町村や社会福祉協議会などの福祉関係団体を通じて、要請していく。市民後見人の養成研修を市町村とともに共同で開催する。相談体制だが、県民に身近な市町村の窓口にその役割を担って頂く事が重要であり、市町村職員の研修などを通じて、充実を図っていく。